

授業科目 国際医療・福祉システム

【担当教員名】 園田 恭一	対象学年	3	対象学科	作業・言語・栄養
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

世界の保健・医療・福祉の現状と施策を総合的に講義する。WHOやUNICEF等の国際機関の保健・医療・福祉に関する取り組みや、各国の保健、医療、福祉に関する制度や組織の比較、国際間の相互理解と協力体制などについても述べる。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

- ①各国の保健・医療・福祉の水準の比較や差異について学ぶ。
- ②所得格差、貧困、不平等、南北問題についての理解を深める。
- ③各国の保健・医療・福祉の施策や制度について学ぶ。
- ④国際機関やボランティア、NGO、NPOの活動などを学ぶ。

回数	授業計画又は学習の主題		SBO	
			番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	国際比較	所得水準、教育水準、社会資本、健康水準、疾病、死亡		講義・ディスカッション
2	"	"		"
3	"	"		"
4	国際保健福祉問題	所得格差、貧困、不平等、南北問題、国際的人口移動、		"
5	"	外国人労働者問題、在日韓国朝鮮人		"
6	"	"		"
7	制度・施策の国際比較	保健・医療・福祉の各国の施策		" (濱野 強)
8	"	"		" (濱野 強)
9	"	保健・医療・福祉の各国の制度		" (藤澤由和)
10	"	"		" (藤澤由和)
11	国際機関の対応	WHO ヘルス・フォー・オール プライマリ・ヘルス・ケア		"
12	"	WHO ヘルス・プロモーション、ヘルシーシティ		"
13	民間団体・ボランティア	NGO		"
14	"	NPO		"

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	後日指示する。			
その他の資料	その都度配布する。			

【評価方法】 レポートと試験	【履修上の留意点】 受け身ではない積極的な発言や参加。
-------------------	--------------------------------